

2012年度教職課程センターの報告

1. 法政大学教職課程センターの発足

法政大学の教職課程教育の体制が抱えていた困難を克服し、教員免許を取得し、教員採用試験に挑戦する学生への系統的な指導を実施する目的を持って、2012年4月より、教職課程センターが発足した。

克服すべき課題は以下のようなものであった。①現在法政大学は3キャンパスにおいて教職課程教育を展開しているが、特に多摩キャンパス、小金井キャンパスにおける教員養成が、市ヶ谷キャンパスと比べても、体制的に見て大きな弱さを抱えていること、②全学の教員養成のための教職専門教育についてはキャリアデザイン学部が責任を持つシステムを取っているが、全学の教職課程教育について、統一的な方針の下に日常的な指導を展開していく仕組みが必ずしも整っていないこと、③近年の教員採用においては、教員免許取得に至る教員養成の全過程に対する大学としての意識的、日常的指導が不可欠になってきており、その日常的な指導体制を整えることが急を要していること、などであった。

この事態に鑑み、この2年間、法政大学教職課程センターの設立に向けて全学の合意を形成し、準備を進めてきたが、4月1日に、教職課程センターとして発足の運びとなった。

体制はセンター長に尾木直樹教授（キャリアデザイン学部）、副センター長に佐貫浩教授（キャリアデザイン学部）、そしてセンター運営委員にこの両名の他、児美川孝一郎教授（キャリアデザイン学部）、平塚眞樹教授（社会学部）、高野良一教授（キャリアデザイン学部）、左巻健男教授（生命科学部）、筒井美紀准教授（キャリアデザイン学部）、遠藤野ゆり専任講師（キャリアデザイン学部）、林園子助教（社会学部）が任じられ、運営に当たることとなった。

また日常的な教職課程を履修する学生への教職相談指導活動を担当する教職相談指導員が、各キャンパスに配置されることとなった。2012年度は、市ヶ谷に教職課程センターが設置され（旧来の教職課程準備室を改組）、多摩地区・小金井地区にも相談室が設置された。教職相談指導員の在室日は、市ヶ谷3日、多摩地区1日、小金井地区1日という体制が実施された。発足初年度は、決して十分な体制、人員の配置には及ばなかったが、3キャンパスで相談室の開設を実現したことは、今後のセンター体制充実への大きな一歩となった。

2. 教職課程センターの基本性格

教職課程センターは、教職課程委員会が決定する基本方針に沿って、法政大学における教職課程教育の中心センターとしての職務を遂行することとなった。具体的には以下のような仕事を担うこととなった。

- ①本学における教職課程教育の基本方針に沿ってその全体的かつ具体的な内容を計画し、その円滑な日常的推進を担う。
- ②非常勤講師を含む教職課程教育の全体の統一的実施のための連絡調整の役割を担う。
- ③教育実習、介護等体験、その他の教職課程教育を遂行するために必要な企画や教育行事、

ガイダンス等についての具体的な有り様を決定し、学生への指導を実施する。

- ④教職課程履修生が記録する「履修カルテ」の管理と指導を担当する。
- ⑤教職課程に関する発行物（教職課程年報、教育実習の手引き等）の編集・発行を行う。
- ⑥教職を目指す学生への日常的な教職相談指導活動、系統的な援助（特別講座や採用試験向け講座などの開設）の実施。
- ⑦現職教員の研修への対応（免許更新制度への対応を含んで）
- ⑧教職課程教育、学生の教員免許取得のための学習・研究に必要な書籍、資料などを蓄積し、学生の利用に供すること（教職資料室の管理、運営）。
- ⑨本学学生の教職への就職等を支援する教育関係同窓生等を含んだネットワークの形成。
- ⑩本学の教職課程教育などに関する研究、調査。

3. 2012年度の教職課程センターの活動

1) 市ヶ谷教職課程センター利用者数

利用目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学生ボランティアなど掲示関連	6	3	5	2	0	2	4	4	0	1	0
自習（教職課程実習室の利用も含む）	5	15	17	9	5	5	44	87	52	56	37
本の貸出・閲覧	47	88	67	88	26	27	77	99	72	56	27
利用指導	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
教職関連の相談・問い合わせ	①就職相談・情報（公立・私立）	5	0	0	0	0	2	2	0	2	6
	②教員採用試験対策（面接、イ筆記、ウ模擬授業）	3	4	3	12	8	3	5	0	0	0
	③模擬授業実習（教育実習事前指導）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④教育実習指導案作成	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	⑤教育相談受付 ※窓口対応	5	7	1	4	3	4	6	5	2	3
	⑥その他（教育実習・教職全般の問い合わせ など）	92	45	37	28	6	26	25	27	16	12
履修カルテ関連	-	-	-	-	-	-	-	11	8	358	9
イベント申込み受付・問い合わせ（シンポジウム・講座など）	-	-	23	69	-	-	1	7	4	28	35
介護等体験	128	84	268	327	16	135	198	230	94	21	11
はしかの抗体検査についての問い合わせ	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
TEL・E-mail など問い合わせ	2	1	5	8	3	1	4	12	4	7	3
その他	24	6	24	32	9	22	33	45	28	33	12
合計 ※1	321	255	452	580	76	227	399	527	282	582	152

開室日数	20	19	21	22	13	19	23	20	17	17	13
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

※1 次頁2) (1) 水野相談員の教職相談指導件数は含まず。

※1と次頁※2の合計件数が当月の利用者数の合計となります。

2) 学生に対する教職相談指導活動

(1) 2012年度センター・相談室別教職相談指導実施件数

相談員・相談実施日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
<市ヶ谷>水野相談員 相談実施日：水・木・金 ※2	2	7	8	10	9	3	9	7	3	5	8	71
<多摩>水野相談員 相談実施日：月曜日	4	5	1	2	3	3	6	4	1	2	0	31
<小金井>小早川相談員 相談実施日：土曜日	6	13	16	11	12	6	9	5	11	6	5	100

(2) 市ヶ谷・多摩相談室の活動概況

◆教職課程センター相談活動（市ヶ谷） 週3日実施

○キャリアデザイン学部 9人 ○文学部 26人 ○法学部 10人
 ○人間環境学部 8人 ○国際文化学部 1人 ○現代福祉学部 2人
 ○大学院 9人 ○科目等履修生 2人 ○通信教育学部 4人
 教育実習相談・4人 教採試験相談・53人 進路相談・14人
 男子41人 女子30人 計71人

※現代福祉学部2人は都合により、市ヶ谷で実施した。

◆教職課程センター相談活動（多摩） 週1日実施

○経済学部 15人 ○社会学部 5人 ○現代福祉学部 5人
 ○スポーツ健康学部 6人
 教育実習相談・6人 教採試験相談・9人 進路相談・16人
 男子21人 女子10人 計31人

※2013年2月現在 水野教職相談指導員の相談件数の集計（多摩では他に専任教員2名が相談活動にあ
 たっている）。

※教採試験相談は、試験に関する相談（学習重点、面接・論述・二次の模擬授業対策など）。

進路相談は、受験自治体の選択・私立と公立の選択・併願、免許取得の相談など。

開設1年目ということで、教職課程センターを知ってもらうため、「市ヶ谷だより」「多摩だ
 より」を発行した。また、各種ガイダンスに出席し、利用を呼びかけた。

教職相談指導活動では、学生が教採試験や教育実習の具体的なイメージがつかめず、力をど
 こに集中していくか、不安な状態にいますので、ニーズに合わせ、情報を資料にまとめ提示した。

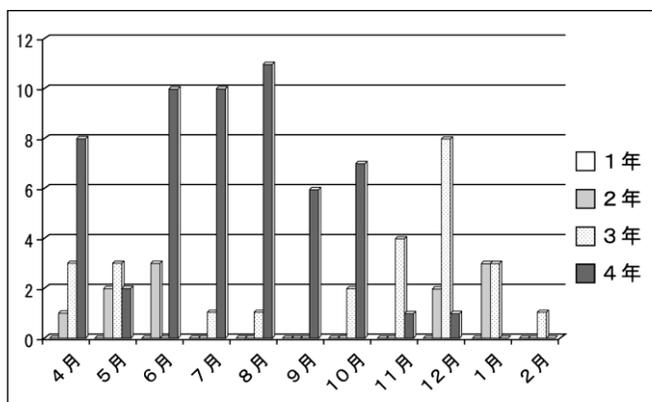
また、呼びかけに応じて集まった教師志望の「自主学习」グループの学生たちが、自ら計画
 し、学びあい、教育実習や教採試験を乗り越えて、夢を実現しようと協同しあっている。

(3) 小金井相談室の活動概況

理工学部・生命科学部・情報科学部のある小金井キャンパスにおいても、教職課程を履修する学生が増えている。

しかし、採用試験で合格までの道りは険しいものがある。今年から小金井相談室が設置されたことにより、教職を目指す学生への本格的な支援がスタートした。

①相談室の学年別利用状況（2月23日現在）

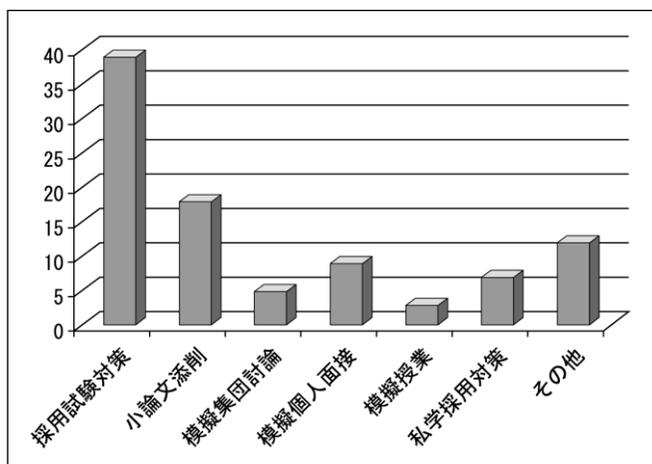


前半は4年生、後半は3年生の利用が多いことが分かる。8月は、集団討論や個人面接、模擬授業を実施した。

3年生からの相談が11月から増え、この時期から受験対策をスタートさせる学生が多くなるようである。

2年生については、利用者はほんの少数であり、1年生の利用は、ゼロである。

②相談室の相談内容別利用状況（2月23日現在）



各県の採用試験情報の提供、そして論文添削、模擬面接等の練習希望が多い。その他は、教育実習に関することや教職大学院への進学相談である。

このことから、今後は利用者のニーズに応えられる資料等の情報発信とコンテンツの蓄積が求められる。

（延べ100人の利用）

(2)の報告については水野教職相談指導員、(3)の報告については小早川教職相談指導員がそれぞれ担当した。

3) 教職課程センター各種イベント

(1) 法政大学教職課程センター開設記念シンポジウム

<市ヶ谷地区>

現代の教師に求められるもの ―私立大学における教員養成を考える―

日 時：2012年7月21日(土) 13:00～16:10

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 6階 薩埵ホール

○講演1 「日本の教育の課題と展望 ―大学に求められるもの―

尾木直樹(法政大学教職課程センター長)

○講演2 「いま、先生は一過酷な、しかし人を惹きつけてやまない仕事―

氏岡真弓氏(「朝日新聞」編集委員)

○討論 「私立大学の教員養成に焦点を当てて」

参加者数 約400名

<多摩地区>

地域とともに育つ教員養成をめざして

日 時：2012年11月16日(金) 17:00～19:30

場 所：法政大学多摩キャンパス 7号館 大教室B棟 B301教室

○ミニ講演 「地域とともに育つ子ども・教師・学校」

尾木直樹(法政大学教職課程センター長)

○パネルディスカッション「これからの学校・教師・地域社会」

パネリスト

篠崎純子氏(相模原市公立小学校元教諭)

石川ゆかり氏(八王子市市民・保護者)

石野由香里(法政大学多摩ボランティアセンター・コーディネータ)

尾木直樹(法政大学教職課程センター長)

コーディネータ 平塚真樹(法政大学社会学部教授)

参加者数 315名

(2) 教員採用試験二次対策(個人・集団面接)講座

市ヶ谷・多摩・小金井各キャンパスで教員採用試験二次対策講座を開催した。採用試験面接官経験者が講師となり、集団協議・面接対策を中心に実施した。

	実施日	延べ参加人数
市ヶ谷キャンパス	8月1日・8月2日	13
多摩キャンパス	7月31日・8月1日	10
小金井キャンパス	8月3日・8月4日	12

市ヶ谷・多摩に関しては外部講師(面接官経験者)を講師に招いて実施した。小金井に関しては小早川教職相談指導員が講師として実施した。

(3) 教員採用試験合格者の体験を聞く会

市ケ谷キャンパス 参加学生：49名	2013年2月20日（水） 14：00～18：10 ※自治体採用担当者の説明会も開催
多摩キャンパス 参加学生：6名	2013年2月27日（水） 10：30～11：30 13：00～14：30 ※自治体採用担当者の説明会も開催
小金井キャンパス 参加学生：30名	2013年2月2日（土） 13：30～15：30

(4) 教職課程センター2012年度総括研究会

日 時：2013年3月15日（金）15：00～

会 場：法政大学市ケ谷キャンパス 富士見坂校舎3階 F310教室

15：00～16：00 佐貫浩副センター長 報告と問題提起（討論を含む）

＜テーマ＞教育現実に挑戦する教師としての力量を大学はどう育てるか
—今日の大学生の特徴、学習観、人間観と向かい合う中から考える—

16：00～17：00 非常勤講師の先生方からの問題提起

①福田淑子先生（国語科教育法担当）

②八木橋正之先生（社会公民科教育法担当、法政二中高）

③金井香里先生（教育課程論担当）

17：10～18：10 討論

18：10～18：25 尾木直樹センター長挨拶

4. 2013年度に向けて

改めて、教職課程センターの設置が法政大学の教職課程教育に対して持つ意味について述べておきたい。

第一に、各学年400人に及ぶ教職課程履修生に対する日常的、系統的な指導と援助の体制を作り上げていくことができるということである。それは、教職課程を履修し、教員採用試験の合格を目指す学生にとって、大きな支えともなり、また意識的計画的に、かつ友人や教職相談指導員の支援を得て日々の取り組みを進めていくうえでも大きな励ましとなるだろう。

第二に、法政大学の従来の教職課程履修の支援が、市ケ谷地区に比して多摩地区・小金井地区でどうしても弱くなっていた状況に対して、3キャンパスにおいて同じようなサービスを受けることができる方向へ向かう一歩としたいということである。

第三に、本学の教員採用試験合格者は現在のところ約20名程度、非常勤講師採用者を合わせると約60名前後という状況であるが、教職関係就職者数は、系統的な援助体制を組むことで一定の増加の可能性がある。教職への道をより確実にする取り組みの一歩としたい。

第四に、法政大学の教員養成の向上のためには、法政大学が歴史的に蓄積してきた教育界における様々なネットワークを最大限活用することが非常に重要となっている。今後は、教員養

成への様々な援助の人材の把握や、就職に関係した情報の把握など、センターが中心となって、新たな支援ネットワークの形成を進めていきたい。

第五に、現在の教職課程教育にとっては、教育現場との連携を深めることが不可欠になっている。学校現場や施設などからの教育関係のボランティア募集なども多数始まっており、それらと教職を目指す学生との橋渡しをするなどして、各種のボランティア参加やインターンシップのセンターとしても機能させていきたい。

教員養成制度の大きな変更の時期を前にして、それに主体的に対応していくことが不可欠となっているが、教職課程センターの発足は、その点で大きな一歩となると思われる。

5. 2013年度の教職課程センター・相談室のサービス

1) 教職課程センター 市ヶ谷 利用内容

●教職関連の書籍／DVD／ビデオの貸出・閲覧

※一部貸出不可の書籍などもあります。

○中学・高校 教科書／指導書

○教員採用試験雑誌「教員養成セミナー」「教職課程」

○教員採用試験問題集／参考書

○教育関係書籍／ビデオ／DVD など

●学習支援ボランティア（学生ボランティア）情報の提供

●勉強会・学習スペースとしての利用

※教職課程実習室の利用に関しては予約が必要です。

●教職相談指導の実施

※事前申込みを優先いたします。

実施日：月・水・木・金曜日 11：00～19：00（予定）

申込み方法：kkc@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または教職課程センターに直接来室

<相談内容>

・就職相談・情報（公立・私立）

・教員採用試験対策（面接・論文・模擬授業対策）

・模擬授業実習（教育実習事前指導）

・教育実習指導案作成 など

●履修カルテの提出

2) 教職課程センター 多摩相談室 利用内容

●教職関連資料・書籍の閲覧

- 教員採用試験参考書・問題集
- 教育関連書籍・ビデオ
- 教員採用試験関連雑誌・新聞（予定）
- 中学・高校 教科書／指導書（予定） など

●教職関連の相談指導

※事前申込みを優先いたします。

実施日：月・火・金曜日 10：00～18：00（予定）

教科関連の相談の場合、社会科は月曜日、保健体育科は火曜日に実施。

申込み方法：kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または多摩相談室に直接来室

<相談内容>

- ・教員免許取得、教職関連の進路相談
- ・教育実習準備に関する相談
- ・教員採用試験向け学習・準備に関する相談
- ・教員採用情報（公立・私立）
- ・学習支援ボランティア（学校・教育）ボランティア関連の相談
- ・スタディグループ（自主的学習活動）づくりに関する相談 など

●履修カルテの提出

3) 教職課程センター 小金井相談室 利用内容

●教職関連の書籍利用

- 教員採用試験の月刊誌（教員養成セミナー）
- 中学・高校 教科書／指導書
- 教員採用試験問題集
- 教育関連書籍

●教職相談指導の実施

※事前申込みを優先いたします。

実施日：火・水・土曜日 9：00～17：00（予定）

申込み方法：kkck@ml.hosei.ac.jp 宛にメール、または小金井相談室に直接来室

<相談内容>

- ・教員採用試験対策（論文・面接・模擬授業対策）
- ・教員採用情報（公立・私立）
- ・教育実習指導案作成 など

●履修カルテの提出

教職課程センター・相談室の利用および教職相談指導の申込みについては、原則として法政大学教職課程を履修している在学生の方（大学院生・通信教育部生含む）および卒業生の方のみの利用とさせていただきます。一般の方のご利用はできませんので、ご了承ください。

※利用内容については、2013年4月現在の予定となります。

4) 教職課程センター・相談室開室日

教職課程センター・相談室	電話番号	開室日時
教職課程センター 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 富士見坂校舎 3階	03-3264-5562	月～金 10:00～18:00
教職課程センター 多摩相談室 〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 総合棟 2階	042-783-2087	月～金(土・日・祝除く) 10:00～18:00(予定)
教職課程センター 小金井相談室 〒184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2 西館 1階	042-387-6359	火～土 9:00～17:00 (11:30～12:30 除く)

※夏季・冬季休業などで閉室の場合は事前にお知らせします。

※2013年度の開室日時の予定となります。最新の開室日時につきましてはホームページ等で確認してください。

(第一部文責・教職課程担当 佐貫浩。なお、法政大学の教職課程履修学生に関するデータ等は全て、学務部学部事務課の教職担当者及び教職課程センターの事務担当者によって処理・提供頂いたものである。)